

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ミギワ10フロアブル
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS作成日	2023年05月30日(01版)
推奨用途	農薬
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響)	追加区分
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分3

ラベル要素

危険有害性 (GHS JP) : 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
水生生物に有害

注意書き (GHS JP)

安全対策	: 使用前に取扱説明書を入手すること。 粉じん、煙、ミスト、スプレー、蒸気を吸入しないこと。 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
応急措置	: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
廃棄	: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
-------------	-------

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール	10	末尾に記載	適用外 (農薬)	8-(1)-4405	1314008-27-9
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム	0.35	C ₂₀ H ₃₇ NaO ₇ S	(2)-1620, (2)-1623	2-(4)-384, 2-(4)-692	577-11-7
2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール	≤1	末尾に記載	(3)-540, (9)-1805	なし(公表化学物質扱い)	128-37-0

《2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール の別名》
イプフルフェノキン

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合

： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

： 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合

： 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

： 口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

： 霧状の水
粉末消火剤
炭酸ガス消火剤
水噴霧
乾燥粉末消火剤

	泡消火剤 二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 情報なし。
火災危険性	: 加熱により毒性・有害性ガスを発生する。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 消火作業は風上から行う。 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。 移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
消火を行う者の保護	: 加熱により毒性・有害性ガスを発生する可能性があるため、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用すること。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。 人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 風上から近づく。 十分な換気を確保する。
-------	--

非緊急対応者

応急処置	: 漏出エリアを換気する。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
------	--

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。
-----	--

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。 排水溝または水路への侵入を防ぐ。
------------	-------------------------------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: ウェス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。 漏出物が河川・水路に流れないように注意する。 漏出物を回収すること。
浄化方法	: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
妊娠中／授乳期中は接触を避けること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
強力な酸化剤、強塩基、強酸から離して保管する。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

《2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール のデータ》

厚生労働省

管理濃度 : 設定されていない

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会) : 第3種粉塵：吸入性粉塵 2mg/m³、総粉塵 8mg/m³

年度 : 2021

ACGIH

許容濃度(ACGIH) : 設定されていない

年度 : 2021

《2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール のデータ》

ACGIH

許容濃度(ACGIH) : TWA 2 mg/m³(IFV), STEL -

設備対策

- : 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。
作業所の十分な換気を確保する。

呼吸用保護具

- : 有機ガス用防毒マスク

手の保護具

- : ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

眼の保護具	: ゴーグル 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 材質を特定しないが、長袖・長ズボン。つなぎ服の着用を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 白色
臭い	: データなし
pH	: 約 7.7
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 試験炎消失 (クリーブランド開放式)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 1.06 (20/4°C)
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
粘性率	: 約 560 mPa·s (20°C)
動粘性率	: データなし
粒子特性	: 粒径分布: ≤ 10 μm (d50)

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 直射日光。熱。高温。
混触危険物質	: 強力な酸化剤。強塩基。
危険有害な分解生成物	: 加熱によって次のものを生成する。一酸化炭素。二酸化炭素。窒素酸化物 (NOx)。硫黄酸化物。フッ化水素。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: データなし

ミギワ10フロアブル	
LD50 経口 ラット	> 2000 ml/kg (♀)
LD50 経皮 ラット	> 2000 ml/kg (♂, ♀)
LC50 吸入 - ラット	> 1.6 mg/l
2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg (♂♀)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg (♂♀)
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 5.06 mg/l/4h (♂♀)
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
LD50 経口	3080 mg/kg
LD50 経皮	10000 mg/kg
2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
LD50 経口	2450 mg/kg
LD50 経皮	2500 mg/kg
皮膚腐食性/皮膚刺激性	: データなし
ミギワ10フロアブル	
pH	約 7.7
2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
皮膚腐食性/刺激性	刺激性なし (ウサギ) 区分外
pH	5.88 (1% 分散水、25℃)
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギに 0.5 mL を閉塞適用した試験で、非損傷皮膚の24時間後のスコア値が 2.33 (紅斑)、2.5 (浮腫)、72時間後のコア値が 1.66 (紅斑)、1.6 (浮腫) で壊死および非可逆的な変化は見られなかったとの記述 (IUCLID (2000)) から、区分2とした。
2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギの閉塞塗布試験で非常に軽度の刺激との記載があり、またヒトに軽度の刺激あり (SIDS (2002)) との記載がある。List 3 のCERI ハザードデータ集 (1997) を削除し、以上の情報に基づき、JIS 分類基準の区分外 (国連分類基準の区分3) とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データなし
ミギワ10フロアブル	
pH	約 7.7

2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	極弱い刺激性 (ウサギ) 区分外

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ウサギに 100 mg 適用した試験で、壊死および非可逆的な変化は見られず、刺激性 (irritating) を示したの記述 (IUCLID (2000))、ウサギに 250µg 適用した試験で、軽度の刺激性 (Mild irritation) の記述 (HPVIS (2009)) から、区分2とした。

2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ウサギを用いたドレイズ試験において、本物質 100 mg を適用 24 時間後で、結膜に軽度の炎症が 6/6 例にみられたが、72 時間後には完全に回復した (SIDS (2002)) との記載より区分 2B とした。

呼吸器感受性 : データなし

皮膚感受性 : データなし

2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
皮膚感受性	感受性なし (マウス)

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
呼吸器感受性	データなし。
皮膚感受性	データなし。

2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	データ不足のため分類できない。SIDS (2002) と IUCLID (2000) に、モルモットを用いた試験で陰性とのデータがあるが、SIDS (2002) は限定的なデータとしている。また、ヒトに関しては、SIDS (2002) では、多数の作業員や患者に対して実施されたパッチテストにおいてすべて陰性であったとの結果があるが、本物質が完全に感受性なしとは判断できないとしている。List 3 の CERI ハザードデータ集 (1997) を削除し、入手した情報を再確認した結果に基づき、分類できないとした。

生殖細胞変異原性 : データなし

2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール	
生殖細胞変異原性	Ames 試験 : 陰性、染色体異常試験 : 陰性、小核試験 : 陰性 (マウス)、Cytogenetic test (マウスソフォマ) : 陰性、コメットアッセイ (ラット、マウス) : 陰性

発がん性 : データなし

2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
発がん性	陰性 (ラット)、陰性 (マウス)

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
発がん性	データなし。

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
発がん性	IARCでグループ3 (IARC 40 (1987))、ACGIHでA4 (ACGIH (1995)) に分類されていることから、分類できないとした。ガイダンス改訂により分類区分を変更した。

生殖毒性 : 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
生殖毒性	繁殖毒性：陰性 (ラット)、催奇形成試験：陰性 (ラット、ウサギ)

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
生殖毒性	妊娠ラットの器官形成期に混餌投与した試験で、母獣に体重増加抑制が見られたばく露量で、吸収胚の増加および仔の外表奇形が有意に増加した (JECFA 723 (1991)) との記述から、区分2とした。また、ラットの混餌投与三世代試験 (0, 0.5, or 1.0% 混餌) で、当該物質の母乳への分泌で、仔の栄養障害が原因と考えられる体重増加抑制、生存率の減少が見られた (JECFA 723 (1991)) との報告から「追加区分：授乳に対するまたは授乳を介した影響」とした。

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
生殖毒性	マウスに混餌投与した3世代試験では各世代ともに生殖発生毒性は認められなかったが、ラットに混餌投与した2世代試験で、F0において一般毒性がみられない用量で同腹児数の減少が認められた (SIDS (2002))。妊娠マウス及びラットへの経口投与では発生毒性は生じないが、母動物に顕著な毒性 (死亡率10%以上) がみられる用量で胎児に骨化遅延がみられたに過ぎない (SIDS (2002))。したがって、本物質は発生毒性を生じないと考えられた。生殖能に対する影響については、ラットで認められたもののマウスでは認められていないことから、区分2とした。なお、ラットの2世代試験のデータについて、旧分類ではList 3の情報源を基にデータを採用し分類に用いたが、今回の分類にはSIDSのデータを採用し、最新ガイダンスにより分類したため分類結果が変わった。また、旧分類の分類根拠とされている無眼球症、小眼球症についての記載は、IARC 40 (1986) において否定されているため削除した。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットの急性経口ばく露試験 (用量：2820, 3560, 4480, 5040 mg/kg) で、3560 mg/kg 以上の投与群で死亡が見られ、死亡例のほとんどは、ばく露後6-24時間以内で見られた。毒性症状として平伏状態や嗜眠が認められ、死亡動物では消化管内に黄色の液体が観察されたが、生存動物の解剖では可視的な障害は見られなかったとの記述 (USEPA/HPV (2001)) がある。しかし上記の試験は、区分2のガイダンス値の上限を超えた高い用量で行なわれており、ガイダンス値内での投与量における影響が不明であることからデータ不足で「分類できない」とした。

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	本物質4g又は80gを摂取した女性2人に上部胃痙攣、吐気、嘔吐、疲労感、神経症状が見られたとの記述 (SIDS (2002)、ACGIH (7th, 2001))、ヒトが経口摂取すると腹痛や錯乱、眩暈、吐気、嘔吐を生じるとの記述 (環境省リスク評価第6巻 (2008)) から、区分1 (神経系) に分類した。

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	臓器の障害 (神経系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし

2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	NOAEL (ラット) 4.84 mg/kg/day (♂)、6.76 mg/kg/day(♀) (2年)、 NOAEL (マウス) 24.8 mg/kg/day (♂)、29.5 mg/kg/day(♀) (1.5年)

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの90日間混餌投与試験(1%混餌(換算値:500 mg/kg/day))で、死亡や異常行動はみられず、体重増加、摂餌量、血液学的検査、尿検査、病理学的検査においても、投与に関連した影響は見られなかったとの記述(USEPA HPV(2001))から、経口ばく露では区分外に相当するが、他の経路(吸入、経皮)の毒性影響のデータがなく、データがなく分類できないとした。

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトについての報告はなかった。マウスに4週間経皮投与した試験において、区分2のガイダンス値内の投与量(45 mg/kg/day(90日換算値))で肺のうっ血、腫大、肺胞上皮細胞の壊死、変性が認められた(SIDS(2002))。また、ラットに混餌投与(投与期間:雄は交配前5週間及び交配期間、雌はさらにF1児の離乳まで)した繁殖試験において、区分2のガイダンス値内の投与量(100 mg/kg/day)で肝臓の組織変化(小葉中心性肝細胞肥大、好酸性化、胆管増生)及び甲状腺機能亢進が見られた(SIDS(2002)、環境省リスク評価第6巻(2008))との記述がある。これらの所見のうち、甲状腺機能亢進は病理組織像の詳細及び程度が明らかでなく、甲状腺を標的臓器とするには証拠が十分ではないと判断した。以上の結果、区分2(肺、肝臓)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肺、肝臓)

誤えん有害性 : データなし

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
誤えん有害性	データなし。

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

- 生態系 - 全般 : 水生生物に有害。
 水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に有害
 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない

ミギワ10フロアブル	
LC50 - 魚 [1]	35 mg/l (コイ、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	50 mg/l (ミジンコ、48hr)
ErC50 藻類	50 mg/l (72hr)
NOEC 藻類 慢性	20 mg/l (72hr)

2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
LC50 - 魚 [1]	4.4 mg/l (ニジマス、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	2.5 mg/l (オミジンコ、48hr)
ErC50 藻類	> 3.54 mg/l (ムネカヅキモ、72hr)
NOEC 魚 慢性	0.086 mg/l (ファットヘッドミノ、32日)

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
LC50 - 魚 [1]	68.2 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	19 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	7.03 mg/l

2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
EC50 - 甲殻類 [1]	0.84 mg/l
NOEC 魚 慢性	0.053 mg/l

残留性・分解性

ミギワ10フロアブル	
残留性・分解性	データなし

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム (577-11-7)	
急速分解性でない	

2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール (128-37-0)	
急速分解性でない	

生体蓄積性

ミギワ10フロアブル	
生体蓄積性	データなし

2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
BCF - 魚 [1]	80.4
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.89(プラスチック振とう法、25°C)

土壌中の移動性

ミギワ10フロアブル	
土壌中の移動性	データなし
2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール (1314008-27-9)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.89(フラスコ振とう法、25℃)

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : データなし
オゾン層への影響 : モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
残余廃棄物 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装 : 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制
海上規制情報 : 非危険物
航空規制情報 : 非危険物
国連番号 : 非該当
正式輸送品名 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
- 国内規制
海上規制情報 : 非危険物
航空規制情報 : 非危険物
- 特別な輸送上の注意 : 荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用・転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。
- その他の情報 : 補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

化審法	: 優先評価化学物質（法第2条第5項） 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール ナトリウム=1, 4-ビス〔（2-エチルヘキシル）オキシ〕- 1, 4-ジオキソブタン-2-スルホナート
労働安全衛生法	: 危険物・酸化性の物（施行令別表第1第3号） 【改正後 令和8年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム塩 非晶質シリカ（シリカゲル、沈降シリカ） 【改正後 令和8年4月1日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 非晶質シリカ（シリカゲル、沈降シリカ）
毒物及び劇物取締法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 有害物質（法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条） アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3） フェノール類及びその塩類 アルミニウム及びその化合物
消防法	: 非該当
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
下水道法	: 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4） フェノール類
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	: 非該当
農薬取締法	: 該当
じん肺法	: 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業 シリカ

16. その他の情報

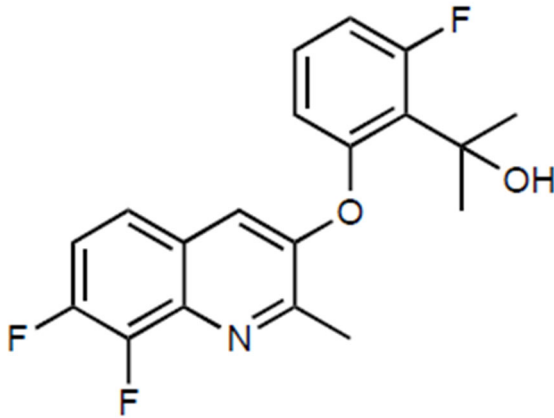
記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の見扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）			
中毒110番 一般市民専用電話	（大阪）	072-727-2499（情報料無料）	365日24時間対応
	（つくば）	029-852-9999（情報料無料）	365日9～21時対応
医療機関専用有料電話	（大阪）	072-726-9923（1件2000円）	365日24時間対応
	（つくば）	029-851-9999（1件2000円）	

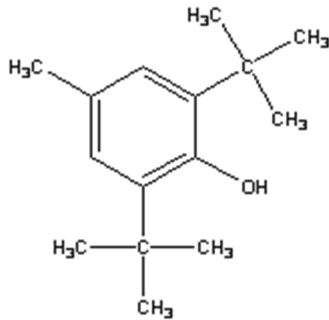
365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、
情報料1件につき2,000円を徴収します。



CAS 番号 : 1314008-27-9

化学名 : 2-[2-(7,8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール



CAS 番号 : 128-37-0

化学名 : 2,6-ジメチル-4-tert-ブチルフェノール